

起因物（小）別コードno.999 分類不能労働災害発生状況

業種別分類不能労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業			3	2		3	1	2	1	2	1	3	3	1	1	1	3	1	2	1		1		32
010102 水産食 料品製 造業			6	2		3	1	2	2	3		1	2	1	2	1	3	2	8	1		1		41
010103 農業保 存食料 品製造 業				1									1	3	1		1		1		1			9
010104 パン、 菓子製 造業				2		1	3	1		6	2		1	1	3	2		1	1	3	2			29
010105 酒類製 造業												1	1											2
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業												1	1											2
010109 その他 の食料 品製造 業			11	7		14	6	6	13	8	5	9	4	4	5	3	2	2	8	5	3	2		117
0101 食料品 製造業			20	14		21	11	11	16	19	9	14	13	10	12	7	9	6	20	10	6	4		232

0201	石炭鉱業																					
020201	採石業								1													1
020202	砂利採取業		1																			1
020209	その他の土石採取業												1									1
0202	土石採取業		1						1				1									3
020301	金属鉱業																					
020302	石油等鉱業																					
020309	その他の鉱業 -その他																					
0203	その他の鉱業																					
02	鉱業		1						1				1									3
030101	水力発電所等建設工事業										1				1							2
030102	トンネル建設工事業				1				1				1				2					5

0301	土木工 事業			11		10		7	9	5	9	13	10	8	5	9	3	5	2	5	1	6	1	2	121
030201	鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業			10		3		5	6	8	9	1	4		3	3	5	2	1	1	1	2		3	67
030202	木造家 屋建築 工事業			3		1		3	4	2	3	2	2	1	3		2	2	1		3		1		33
030203	建築設 備工事 業					2		2	3	4	1	1	1	1		1	2	2			1				21
030209	その他 の建築 工事業			11		8		4	5	5	3	5	4	1	2	2	4	1	1	1	3	1		1	62
0302	建築工 事業			24		14		14	18	19	16	9	11	3	8	6	13	7	3	2	8	3	1	4	183
030301	電気通 信工事 業							1	2	3			1			1		1	3	2					14
030302	機械器 具設置 工事業							1		1	1			1			2	1		2	1	1			11
030309	その他 の建設 業－そ の他			4		1		3	4	1	6	3	3		2	1	2	1		2		2	1	2	38

0303 その他の建設業			4		1		5	6	5	7	3	4	1	2	2	4	3	3	6	1	3	1	2	63
03 建設業			39		25		26	33	29	32	25	25	12	15	17	20	15	8	13	10	12	3	8	367
040101 鉄道・軌道業			3		10		2	5	5	14	5	5	2	9	3		3	2	3		2	1	1	75
040102 水運業									1								1							2
040103 航空業			8		7		8	1	2			1		6	2				1		1			37
0401 鉄道・軌道・水運・航空業			11		17		10	6	8	14	5	6	2	15	5		4	2	4		3	1	1	114
040201 ハイヤー・タクシー業			35		41		22	36	35	30	26	18	22	13	19	16	13	16	5	10	3	4	5	369
040202 バス業			5		13		3	8	4	16	4	5	4	4	3	3	5	4		2	5	4	1	93
040209 その他の道路旅客運送業					2										2	1					1			6
0402 道路旅客運送業			40		56		25	44	39	46	30	23	26	17	24	20	18	20	5	12	9	8	6	468
040301 一般貨物自動車運送業			27		29		22	27	36	35	23	10	24	35	25	26	18	14	23	17	16	11	13	431

一般港湾運送業							1												1			2	
050202 港湾荷役業				2		1	1		1		1		1						2			9	
050209 その他の港湾運送業									1													1	
0502 港湾運送業				2		1	1	2		1		1		1					3			12	
05 貨物取扱業		2		3		1	3	3	1	3	2	2	5	3	5	2	2	3	1	9	3	2	55
060101 農業				1		2	1		3	1	1	3	1		1	1	2		2			19	
0601 農業				1		2	1		3	1	1	3	1		1	1	2		2			19	
060201 木材伐出業		5		4		3	2		1		1	3		1		1	3				2	26	
060209 その他の林業		9		4		1		1		3	1	1			2	1						23	
0602 林業		14		8		4	2	1	1	3	2	4		1	2	2	3				2	49	
06 農林業		14		9		6	3	1	4	4	3	7	1	1	3	3	5		2		2	68	
070101 畜産業		6		4		6	4	1	2	3	2		3	2	1			1	3	1		39	
0701 畜産業		6		4		6	4	1	2	3	2		3	2	1			1	3	1		39	
070201 漁業		4		2				4									2	1	2	1		2	18
070209 その他の水産		4		1			1			1	2	1	1			1		1		1		14	

その他の接客 娯楽業		23		22		14	20	12	18	17	18	9	16	8	15	9	6	5	9	5	3	3	232
14 接客 娯楽業		43		67		36	36	28	55	41	38	23	39	28	33	40	21	20	23	22	7	10	610
150101 ビルメンテナ ンス業		11		21		12	8	13	10	12	3	3	5	7	10	3	7	11	7	2	6	5	156
150102 産業廃 棄物処 理業				2		3	3	1	2	2	4	2	2	1	2	2	3		1	2	5		37
150103 その他 の廃棄 物処理 業		4		1		2	3	4	1	4	2	5	3		2	1	1	1			2		36
150104 火葬業																							
150105 と畜業		1				1					1								1				4
150109 その他 の清 掃・と 畜業		1		2		1	2	4	4	2	2	1	3	4	4	1	1	2	3	2			39
1501 清掃・ と畜業		17		26		19	16	22	17	20	12	11	13	12	18	7	12	14	12	6	13	5	272
15 清 掃・と 畜業		17		26		19	16	22	17	20	12	11	13	12	18	7	12	14	12	6	13	5	272
160101 官公署		1		1		2	2	1	1			3		2		1					1		15
1601 官公署		1		1		2	2	1	1			3		2		1					1		15
16 官公 署		1		1		2	2	1	1			3		2		1					1		15

2012	3	19	を強打した。被災者は一旦帰宅した後、救急搬送され「急性硬膜下血腫」で死亡した。	80209	2	29
2012	3	16 17	タクシー乗務員である被災者が客を乗せ走行を開始したところ、客が準備していた小刀で首を刺され死亡した。	40201	99	100 ～ 299
2012	2	11 12	カフェの厨房にて、立ったままカウンターに伏せている被災者が発見された。発見者が声かけするも返答なし。体を床に寝かし脈を確認したが無かったため救急車を呼び、看護師による心肺蘇生を行ったものの回復せず、救急搬送先の病院で「心筋梗塞」のため死亡した。	130201	99	30～ 49
2012	2	3 4	被災者は岸壁に停泊したチップ船において、揚貨装置を運転し、チップの荷役作業に従事していたところ、途中で行方がわからなくなった。同僚等が搜索したところ、チップ船から約500m離れたチップヤードのたい積したチップの山の中から被災者が発見され、死亡が確認された。	50202	99	10～ 29
2012	4	13 14	事務所において、事務職員が施設利用者に暴力行為を受け死亡した。	170209	99	1～9
2012	2	12 13	被災者は作業終了後、上司に「トイレ行ってくる」と伝えた後、戻ってこなかったため、上司が探したところ、駐車場に倒れていたのを発見され、救急搬送された病院で死亡した。なお、被災者は過去に何度も「てんかん」症状で就業中に倒れていた。	30108	2	1～9
2012	12	21 22	高速道路のパーキングエリアで、運転していた大型トラックの荷台から転落して後頭部をアスファルトに強打し、頭蓋骨骨折、脳挫傷により死亡した。	40301	99	30～ 49
2013	6	9 10	被災者は、事業者及び漁業者3名と漁船に乗り、ホタテ養殖施設の修繕等を行うため、スクーバ式潜水（ドライスーツ着用）により単独で約40m潜水し、同施設の海底アンカー付近のロープをナイフで切断後、何らかの原因で溺れ、足から海面に浮上した。	30199	10	1～9
2013	7	18 19	被災者はダンプトラック（以下、「車両」という。）での骨材の配送業務を終え、車庫（屋外駐車場）にて自身が運転した車両の点検等（タイヤのナット増し締め）の作業中、同僚が被災者のナット増し絞めの音が聞こえなくなったことを不審に思い、様子を見にいったところ、被災者が車両右後部のタイヤ脇で倒れていた。	40301	99	10～ 29
2013	6	11 12	鋳物工場内で、ショットブラスト作業を担当していた被災者は、品物をショットブラスト内にセットした。始動後5分程度の待機時間中、転倒して後頭部を強打し、頭蓋骨骨折（急性硬膜下血腫）で意識不明となり、搬送先の病院で死亡した。	11002	2	10～ 29
2013	7	5 6	脂原料を混合するミキサー内（直径：1m、深さ：1m）において、被災者1名でミキサー内の清掃作業（布にガソリンを染み込ませての拭き取り）を行っていたところ、意識を失い死亡した。	10801	99	30～ 49
2013	9	17 18	被災者は、自社倉庫（平屋、中2階有り）内の整理作業を単独で行っており（被災者の妻が、道路から本人が倉庫内で作業をしているのを見かけていた）が、上席者が倉庫内のコンクリート床上に倒れている被災者を発見した。その後、救急搬送されたが、脳挫傷により死亡した。尚、災害発生時に目撃者はおらず、詳細は不明。	30199	99	10～ 29
2013	5	18 19	飲食していた客が、仰向けに倒れている被災者を発見し、1階にいた事業主に知らせた。被災者は、救急搬送されたが、死亡した。	140201	99	1～9
		19				

2014	7	～ 20	空調機点検中、くも膜下出血により死亡した。	30301	99	1～9
2014	5	6 ～ 7	事業場敷地内へ自転車を進め歩いた際、後ろ向きに転倒し、頭部を打った。	30209	2	30～ 49
2014	5	8 ～ 9	荷降ろしの為、トラック内で待機していたところ、脳梗塞により死亡した。	40301	99	30～ 49
2014	3	15 ～ 16	事務所内にて会議中、急性大動脈解離により死亡した。	30201	90	100 ～ 299
2014	2	17 ～ 18	被災者は、徒歩にて夕刊の新聞配達を行っていた。なかなか家に帰ってこないことを不審に思った家族が被災者を 探したところ、坂道の溝に倒れていた被災者を発見した。被災者は救急搬送されたが、搬送先の病院にて死亡が確 認された。	80205	99	1～9
2015	5	11 ～ 12	当該事業場の労働者である被災者が、事業場内において健診を実施していた際、胃がん検診のためバリウムを飲み 透視撮影台に寝ていたところ、頭部が当該機械に挟まれたもの。	10409	7	100 ～ 299
2015	9	16 ～ 17	林道工事において、元請の作業員と共に2名で残土処理場の木柵の設置作業を終了した後、元請の作業員はドラグ ショベルで法面の整形作業を行い、被災者は行う作業がないため、元請の作業員から休憩する旨言われていた。別 工事を行っていた建設工事の関係者が、車で帰社途中に、残土処理場の横の林道を走行していたところ、林道上に 横向きに倒れている被災者を発見したものの。	30199	99	10～ 29
2015	9	5 ～ 6	業務終了後の片づけ中に、後方から頭部を複数回殴打される。	140201	99	10～ 29
2015	7	21 ～ 22	調理場にて、客へ提供する食材を試食したところ肉片が喉に詰まり、呼吸困難に陥って救急搬送。搬送時点から低 酸素脳症が認められ、発生から約2ヶ月経過した頃に多臓器不全に陥り、平成27年9月23日に死亡したものの。	140209	99	1～9
2015	8	15 ～ 16	間伐作業中、立木の伐倒作業で、伐倒した立木が予定の方向からずれて倒れた後、被災者は伐倒木先端の位置より 下方の斜面で発見された。被災者は、災害発生後治療を受けていたが、10月2日に死亡した。	60201	99	1～9
2015	9	9 ～ 10	翌日の作業の準備のために出勤した労働者が、有機溶剤の回収槽付近で倒れている被災者を発見した。直後に休日 の会社の様子を見に来た事業主とともに被災者の様子を見ていたが、一向に目を覚まさないため病院に搬送され、 治療が行われたが、9月11日に脳ヘルニアのため死亡した。	10899	99	10～ 29
2015	7	15 ～ 16	被災者は、工場のエアー配管増設工事において、体調不良により休憩中になんらかの理由により頭部を負傷し、搬 送先の病院で7月13日に死亡したものの。なお、発生時間不明のため、救急車を呼んだ時間を記載。災害の発生状 況等目撃者がいないことから、被災者の体調不良の原因や発生した事象が不明であり労働災害と結論づけることが できなかったが、労災請求先の署において、平成28年3月11日に業務上の決定がなされたもの。	30203	99	1～9
		8				30～

2015	4	9	～	ゴルフ場コース内で、立木の枝打ち作業中、何らかの原因で墜落し、4月12日に、搬送先の病院で死亡した。	140301	1	49	
2015	9	14	～	15	木造2階建ての民家の屋根塗装工事において、一人の作業者が2階屋根の上でサンダーがけ作業を行い、被災者が地上でサンダーのコードが引っかからないようにしていたが、しばらくした後、近くにいた施主が、屋根に上がるために設置された移動はしごの傍で、ロープを握ってうつ伏せに倒れている被災者を発見した。目撃者はおらず、移動はしごを上がる途中か、高さ約3.2mの下屋から墜落し、胸部を強打したものと見られる。	30209	1	1～9
2015	5	11	～	12	事業場敷地周囲の崖付近で除草作業を行っていたところ、当該崖から河川に墜落した。その後、行方不明になっていたが、平成27年6月15日に河川で遺体となって発見された。本件、被災者は一人で作業なので、被災時の目撃者はおらず、災害発生時間も不明であるもの（該報告に際して、「災害発生時間」は便宜上入力。）。	150102	1	30～49
2015	9	21	～	22	タクシー運転業務中、事務所から無線で配車指示された場所で客を乗せ、客から指示のあった道の駐車場所に到着したところ、客から「金を出せ」と言われたあと刃物で腹部等を刺された。被災者はタクシーの外へ逃げて倒れていたところを、客の運転する車に頭部をひかれ死亡した。客は道の駐車場所に事前に自家用車を用意しており、犯行後自家用車で被災者の頭部をひいて逃走したものの。	40201	99	10～29
2016	10	7	～	8	作業打ち合わせ前に、現場代理人の被災者が現場状況の確認作業へ向かった後、打ち合わせ場所に戻ってこなかったため当該事業場の作業員が探しに行ったところ、横断管施工箇所の呑口柵に設置した水中ポンプにうつ伏せ状態で倒れている現場代理人を発見した。	30106	10	30～49
2016	8	12	～	13	12時頃、海女が入水。海底到達の合図とは違う合図があったため、引き上げをした。上がった海女は潜水マスクを外して、意識がない状態だった。船上に引き上げ、港に戻り、救急車で病院に搬送してもらったが、死亡が確認された。死因は大動脈瘤破裂による溺死。	70201	10	1～9
2016	7	8	～	9	被災者は当該事業場の倉庫の横に4tトラック（ウイング車）を止め、荷物の積み替え作業の段取りを行っているものと思われていたが、同僚が付近を通りかかった時に、トラックの後ろで仰向けに倒れて頭部と耳から血を流している被災者が発見された。	40301	99	30～49
2017	10	10	～	11	トラック運転手の被災者は、荷主先構内で荷降ろし準備作業のため、トラック後方の観音扉左側を開け、続いて観音扉右側を開けた。待機していた荷先事業場のフォークリフト運転手が、トラック内の荷を取り後退しようと振り返ったところ、アスファルト舗装の路面に仰向けに倒れている被災者を発見した。救急車で病院に運ばれたが、頭部打撲による頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫により死亡した。	40301	99	30～49
2017	8	10	～	11	被災者は斎場の屋外において来客者の案内と車両の誘導を行っていた。斎場において告別式が開始され、新たな来客者も途絶えていたところ、被災者が斎場前の道路の路側帯に後頭部を打ち付け倒れていたところを、通行人に発見され、救急車で病院に搬送されたものの、死亡が確認された。	170201	2	50～99
2017	5	16	～	17	被災者が横円筒形の大型管を支える台座の中にあるオイルパンの拭き取り作業を終えたところ、被災者の後方に置かれていたウエスに引火した炎がオイルパンに向かって走り、その通り道にいた被災者に燃え移り、火傷のため入院していた被災者が死亡した。	30302	16	1～9
2017	4	16	～	17	被災者は工事中、雨樋の取り付けのため足場上で単独作業をしていた。他の現場作業員が、足場の上からボルトが落ちてきた音を聞いたため、現場代理人に説明した。現場代理人が足場上を確認したところ、北面の足場の3層目（地上からの高さ4.76m）で被災者が倒れていた。病院に搬送されたが、翌日死亡が確認された。	30201	99	10～29
2017	3	22	～	23	スキー用ワックスの研究開発に必要なデータ取りのため出張していた被災者が、路上で心肺停止の状態で見送られた。原因は不明であるが、頭部、顔面に打撲痕があり、頸椎損傷により歩行困難となり、寒冷状態及び循環器不全等により死亡したと推定される。	120109	99	1000～9999
		20						

2018	7	～ 21	被災者は、タクシーの運転手であり、夕方、乗客1人を乗せて、その後、豪雨で行方が分からなくなった。後日、遺体として発見された。	40201	99	30～ 49
2018	7	12 ～ 13	反応釜内で3種類の化学物質を加えている際に、爆発が発生し、作業の指示をしていた労働者1名が死亡し、同じ作業又は付近で作業をしていた労働者も負傷したほか、隣接する工場の労働者も負傷したものの。	10803	14	10～ 29
2018	7	10 ～ 11	被災者が取引先の事務所（3階）で打ち合わせ後に事務所を退室した。その直後、ドスンという大きな音がしたの で事務所から出てみると、2階から1階の途中で被災者が倒れており、搬送先で死亡が確認された。	40301	99	1～9
2018	6	10 ～ 11	パラグライダースクールにて、被災者と利用客が、2人乗りパラグライダーでフライト中、キャノピー（布製の翼部）が窄まり、約30m上空から地面に墜落した。	140309	1	1～9
2018	3	16 ～ 17	終業時間が近づいたため、事務所から離れた場所にある作業場所（通称：駐車場）にて中古車販売用の10tトラックのホイール磨き作業に従事している労働者を迎えに行ったところ、作業場所に居なかったことから、駐車場内を探していたら、駐車場の外側を流れる用水路（幅80cm、深さ1m、水深9cm）の中でうつ伏せになって死亡している労働者を発見したものの。	11701	10	30～ 49
2018	2	8 ～ 9	荷主場所から荷を積み込み出発し、翌々日に精米工場に米を配送した。工場到着後、30kgの袋をトラック荷台から床に荷卸しする作業を行っていた被災者が、トラック右後方で倒れていたのを現地担当者が発見した。救急搬送されたが、意識がもどらず死亡した。	40301	90	30～ 49
2019	11	6 ～ 8	事業所玄関及び門扉の鍵当番だった同僚が朝出勤し、門扉を開けて事業所玄関に向かったところ、事業場敷地内の門扉と玄関との間の客用駐車場で倒れていた被災者を発見した。被災者はすぐに救急車で病院に搬送されたが、同日に多発肋骨骨折による右外傷性血気胸で死亡した。倒れていた被災者を発見した時、周囲に被災者以外の人はおらず、被災者は多発肋骨骨折に至った経緯を話すことは無かった。	90109	99	1～9
2019	9	16 ～ 18	被災者は倉庫内において一人で荷の片づけ作業を行っていたが終業時間になっても本社に帰社しなかった。そのため、会社の者が倉庫に確認に行ったところ、頭から血を流した被災者を発見し、その後救急搬送されたが死亡したものの。	10805	1	100 ～ 299
2019	7	12 ～ 14	ホテルにおける災害。被災者は一人で1階床下の地下ピットへ入り、そこにある配管群に対する水漏れ箇所を探し、当該箇所をシールする作業を行っていた。作業開始から2時間ほど経過したところで同僚が呼び掛けたが、返事がなかったので同僚も地下ピットへ入ったところ、地下ピットの床を浸していた配管漏水による水溜まりの中に顔をつけて倒れている被災者が発見されたもの。	140101	10	30～ 49
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場と第三工場間の中庭にて1名が死亡した他、1名の労働者が負傷した。	10203	16	10～ 29
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が負傷した。	10203	16	50～ 99
2019	6	14 ～ 16	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が負傷した。	10203	16	50～ 99

2019	6	14	織機を用いた繊維の加工・製造を行う事業場において、事業場敷地内の第一工場から出火し、第二工場、第三工場へと延焼し全焼した。その結果、第二工場内にて1名、第三工場にて2名の遺体が発見された他、3名の労働者が16負傷した。	10203	16	50～ 99
2020	6	12 ～ 14	刑務所内における施設の清掃業務として、熊手竹ほうきを使用し、正門の近くにある植込みのソテツの木に張られたクモの巣の除去を行っていたところ、急に倒れこみ、頭部を強打したものの。	170209	2	100 ～ 299
2020	6	12 ～ 14	修繕船の船内でアイスコンバー（氷を砕く機械）の点検口の取り付け作業を行っていたところ、室内から出火し、消防隊員が救出したものの、死亡していたもの。	11501	16	10～ 29
2020	6	12 ～ 14	修繕船の船内でアイスコンバー（氷を砕く機械）の点検口の取り付け作業を行っていたところ、室内から出火し、消防隊員が救出したものの、死亡していたもの。	11501	16	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html